

2016年10月3日

東急ファシリティサービス株式会社

## 渋谷ヒカリエにおいて災害食の体験型講座を実施 ～持続可能な組織を目指して～

東急ファシリティサービス株式会社（本社：東京都目黒区、社長：高橋 俊之）は、首都直下地震に備え、2016年9月28日に「BC視点における災害食の必要性について考える」と題し、渋谷のフラッグシップタワーである渋谷ヒカリエをモデル事業所として、被災時におけるお客様の事業継続および早期復旧のために必要な災害食のあり方についてワークショップを実施しました。

当日は、当社ならびに協力会社等の従業員を対象に約40名が参加し、講師にホリカフーズ株式会社 取締役兼執行役員の別府 茂氏をお招きして、首都直下地震による被害を想定した「先進的な災害食マネジメントについて」の講義の受講や、被災時に事業を継続・復旧するために必要な食料備蓄についてのワークショップを行い、課題を抽出するとともに、関係者の防災意識の啓発を行いました。また、講義の最後では参加者が実際に防災拠点に備蓄される災害食を作り、試食訓練が行われた。



< 別府 茂氏 >



当社は、多種多様な施設運営のサポートにより培った長年の経験と豊富な実績を生かし、被災時におけるお客様の事業継続および早期復旧に貢献するため、さまざまなBC活動を推進してまいります。

### 【本件に関するお問合せ】

経営統括室 総務部 総務課 （担当：中嶋・遠藤）

TEL：03-5722-1111 FAX：03-5722-1138